

令和 5 (2023) 年度 事業報告

本年度は、法人化し、土佐清水市国立公園 * ジオパーク推進課から、「ジオパーク推進」、「竜串ビジターセンターの運営」などを引継ぎ、運営を開始した初年度となった。

行政の立場ではなく民間事業者となり、これまでと勝手が違うところもあったが、民間としてのフットワークの軽さや、法人として協議会での直接雇用が可能となり、それが人材の充実に繋がった点は、法人化としてのメリットといえる。

2021 年の日本ジオパーク認定から 2 年目となり、JGN 全国大会やブロック研修会などへの参加はもちろん、全国大会分科会での発表や、JGN でのワーキンググループへの参画など、これまで以上に、JGN のネットワーク活動に注力した。さらに、ジオパークを目指す地域の視察受入れを行う立場となったことは感慨深い。

9 月から着任した冨永専門員も即戦力として協議会運営の一翼を担っており、早速、9 月 5 日からの、ジオガイドを対象としたジオサイト巡検研修（～12 月まで市内 6 地域で開催）では、専門分野での助言などを行い、3 月には自身が企画した土佐清水の地質を中心とした「付加体勉強会」を実施し、ジオガイドからも好評を得た。

また、認定時に受けた「審査指摘事項」への対応については、可視化の向上をはかるため、竜串ビジターセンター入口に解説看板の設置、総合パンフレット・竜串ガイドマップの多言語化（英語、繁体字）、ホームページの多言語化（英語）を実施した。さらに、中長期的に取り組むとされた、サンゴをはじめとした海洋資源の保全については、3 月に講師を招き、宝石サンゴの生態、保全活動についての学習会を行った。

1. 日本ジオパークネットワーク（JGN）活動への参加

1-1 JGN 活動への参加

第 13 回日本ジオパーク全国大会 in 関東（千葉県銚子市、埼玉県秩父市）が 10 月 27 日から 29 日に行われた。銚子（中央会場）、秩父（サテライト会場）での開催となり、現地参加 6 名（事務局 4 名、ガイド 2 名）、分科会などでのオンライン参加 7 名（ジオガイド 5 名、事務局職員 2 名）となり、他地域との交流や、情報交換、また、分科会での発表、ジオツアーへ参加を行った。

(一社) 土佐清水ジオパーク推進協議会

また、当地域の取り組みのPR及び他地域との情報交換、ネットワーク構築のため、JGNが開催する会議、研修会等に加え、日本ジオパーク認定を目指している喜界島（鹿児島県大島郡喜界町）事務局の視察受入れも行った。

日にち	場所	内容	参加者
4/6,12	オンライン	JGN 研修「ジオパークと国立公園の連携に向けて」	事務局
4/20、22 29、30、 5/3	オンライン	ジオ多様性オープンギャラリートーク【四国西予、室戸、三好、讃岐】	事務局
5/18	竜串ビジターセンター	喜界町ジオパーク担当者視察受入	事務局
5/20	幕張メッセ (千葉県千葉市)	JGC公開プレゼン JGN運営会議	事務局
5/21	幕張メッセ(同上)	JpGU公開セッション	事務局
5/30	東京都内	JGN通常総会	事務局
5/30	東京都内	ジオパークによる地域活性化推進議員連盟総会、意見交換	事務局、議員連盟
6/6～9	オンライン	JGN基礎研修会	事務局、ジオガイド
6/20	オンライン	地震学習会	事務局、ジオガイド
6/23	オンライン	JGN ジェンダー平等ワーキンググループ準備会議	事務局
8/1	オンライン	地球時間の旅巡回展示企画打合せ	事務局
8/29	東京都内	全国事務局長会議	事務局長
10/4	オンライン	ジオパークと防災リテラシー	事務局長
10/16	オンライン	全国大会分科会（フェノロジーカレンダー）打合せ	事務局
10/27 ～ 29	千葉県銚子市、埼玉県秩父市	第13回ジオパーク全国大会 2023in 関東	事務局、ジオガイド
12/25	オンライン	JpGU ワーキング会合	事務局
1/11	オンライン	JGN 防災ワーキンググループ オンライン説明会（令和6年能登半島地震）	事務局
1/15～17	鹿児島県鹿児島市	地球時間の旅展 第3回研修会	事務局
2/6～10	新潟県糸魚川市	第18回ジオパーク全国研修会	事務局
2/13、14	徳島県三好市	中四国・近畿ブロック研修会	事務局
3/3	和歌山県串本町	第11回南紀熊野ジオフェス	市、事務局

・喜界島視察受入
(5/18 竜串 VC)



・JGN 中四国近畿ブロック研修会
(2/13、14 徳島県池田町)



2-1 ジオガイド養成

本年度は、新規認定は行わず、現役ジオガイドの育成に力を注いだ。9月～12月にかけ、市内各地のジオサイトを回り、サイト学習および、モニタリングの方法などの研修を6回行った。11月には、愛媛県の四国西予ジオパークへ視察に行き、ジオツアーの体験や、拠点施設である四国西予ジオミュージアムの訪問、また先方ジオガイドとの意見交換会を行った。

日にち	内容	参加者
9/5	ジオサイトモニタリング、学習会（叶崎）	事務局、ジオガイド
9/11	ジオサイトモニタリング、学習会（足摺）	事務局、ジオガイド
9/15	ジオサイトモニタリング、学習会（鹿島、加久見）	事務局、ジオガイド
9/26	ジオサイトモニタリング、学習会（爪白）	事務局、ジオガイド
10/11	ジオサイトモニタリング、学習会（松尾）	事務局、ジオガイド
10/17	ジオサイトモニタリング、学習会（赤簗、白簗）	事務局、ジオガイド
11/6	四国西予ジオパーク視察	事務局、ジオガイド、市担当
12/20	ジオサイトモニタリング、学習会（下ノ加江方面）	事務局、ジオガイド
3/8	付加体勉強会	事務局、ジオガイド

・ジオガイド研修 布巡検
(12/20 布)



・四国西予ジオパーク視察
(11/6 愛媛県西予市)



2-2 ジオツアーの販売

竜串ビジターセンターでのジオツアー販売および観光商談会でのPR

土佐清水ジオパーク Web サイトにおいてツアーの紹介及び予約申込を行い、竜串ビジターセンターを窓口としてツアーの販売を行った。今年度は、初の試みとして、東京、大阪、広島、福岡で旅行業者向けに実施される観光商談会へ出席し、ジオツアーの魅力について伝えた。また、ホームページの多言語化（英語）を実施し、ジオツアーの紹介を行った。販売実績は徐々に伸びてきているもののまだ十分ではないため、今後とも、PRに努める。

(一社) 土佐清水ジオパーク推進協議会

【販売実績】

販売件数：48 件（前年：34 件）

参加人数：242 人（前年：191 人）

販売金額：364,000 円（前年：322,200 円）

日にち	内容	参加者
4/26	高知県地域観光課との打合せ	事務局、県、市
4/26	団体ツアーでのルート確認	事務局、ジオガイド
6/4	高知県観光商談会（広島）	事務局、観光協会、事業者
6/8	高知県観光商談会（福岡）	事務局、観光協会、事業者
7/25	麻布高校修学旅行下見説明	事務局
9/12	高知県観光商談会（東京）	事務局、観光協会、事業者
10/10～11	高知県観光商談会（大阪）	事務局、観光協会、事業者

2-3 全体ガイドマップ多言語化

高知県の補助事業を活用し、総合ガイドマップ、竜串ガイドマップの多言語化（英語、繁体字）を行った。

・総合ガイドマップ



・竜串ガイドマップ



2-4 表示物などによる可視性の確保

高知県の補助事業を活用し、竜串ビジターセンター正面入り口に案内板の設置を行った。

・案内看板（近影）



・竜串ビジターセンター正面



3. 教育、研究、普及啓発

3-1 学校教育

希少植物や自然災害碑等を活用したプログラムを学校に提案し、総合学習の時間を活用して実施したほか、学校と連携し、フィールドワークや教員向けの研修等を行い、学校行事への参加も行った。

日にち	学校・学年	内容
5/9	三崎小学校	環境学習
5/25	足摺岬小学校	足摺ガイド学習オリエンテーション、松尾探索
7/19	下川口小学校 教員	教員向けジオパーク学習
8/2	市教育委員会理科部会	研修会
9/5	市校長会	研修会
9/25	清水中学校	ジオ学習
10/10、 10/24、 11/8	清水中学校 1 年	ジオ学習フィールドワーク（3 班に別れ、3 ヶ所を巡検）
10/17	下川口小学校	自然災害碑 学習
10/25	三崎小学校	三崎小学校ガイド学習
11/1	市教育委員会理科部会	研修会
11/14	清水高等学校	地学授業
11/15	三崎小学校	石碑学習
11/21	清水高等学校	地学授業
2/2	清水小学校 6 年生	ジオ学習
2/8	三崎小学校	草花学習
2/8	三崎小学校 4 年生	草花学習
2/13	清水高等学校	地学授業
2/14	清水高等学校	地学授業
2/26	三崎小学校	ガイド学習発表会
3/1	足摺岬小学校	お別れ遠足
3/20	清水高校、高松東高校	交流会（発表会）
3/21	清水高校、高松東高校	見残し巡検
3/23	下ノ加江小学校	休校記念式典

(一社) 土佐清水ジオパーク推進協議会

・清水中学校ジオ学習

(9/25 清水中学校)



・三崎小学校石碑学習

(11/15 三崎小学校)



3-2 情報発信

Web サイトをはじめ各種 SNS 等のデジタルツールを用いた情報発信のほか、広報とさしみずに連載している「ジオパークだより」等により情報発信を行った。

3-3 講演会やイベントの実施

市民向けの取り組みとして、講師を招いての市民公開講座や、地区の子ども会や、また、ホテル事業者向けにジオパークに関する勉強会、市役所職員研修のジオ学習を実施した。

日にち	場所	内容
5/16	TheMana	ジオパーク超入門
6/14	サニーサイドホテル	ジオパーク超入門
6/15	アズリテルメ	ジオパーク超入門
6/10～ 6/30	市民図書館	環境月間展示
8/6	市民図書館	押し花標本づくり
8/20	中央公民館	市民公開講座 「土佐清水の植物と植物研究」(講師 前田先生)
9/28	大岐地区	大岐・布子ども会
10/5	布地区	大岐・布子ども会
11/5	旭町区長場	津波避難訓練後での講話 「津波避難はだれのため？」
11/5	中央公民館	市民公開講座 「人が主役の津波避難訓練」(講師 矢守先生)
11/14～ 16	うみのわ、竜串海岸	市職員向けジオパーク研修(延べ 73 人参加)
11/14、 21	竜串福祉センター	竜串解放子ども会
12/2	県合同庁舎前広場	産業祭

(一社) 土佐清水ジオパーク推進協議会

・市民公開講座

(11/5 中央公民館)



・市職員ジオパーク研修

(11/14 VC, 竜串海岸)



3-4 活動支援事業

土佐清水ジオパークエリア内で行われる研究や、保全、普及啓発活動を対象とし、助成を行う。令和5年度は前年、本事業を活用した産総研、羽地氏が採択された。

対象者	区分	内容
羽地 俊樹	学術研究事業	小断層群の記録する古応力から検討する中新統三崎層群の地質構造発達史

4. 保全活動

保全活動について、NHK朝の連続テレビ小説「らんまん」の放送に併せ、牧野植物園担当者と連携し、市民向けの植物観察会や、野生植物分布調査などを実施した。また、これまで取り組んできたマルバテイシヨウソウ保全活動、足摺岬ヤブツバキ再生事業についても中心となって活動に取り組んだ。また、サンゴ保全活動として、保全活動、モニタリングを行っている（公財）黒潮生物研究所に対し、寄付を行った。美観活動定期的に実施、特に、竜串地域の一斉清掃や草刈りなどを地域の事業者と協同で実施した。

4-1 サンゴ保全活動応援事業

竜串ビジターセンターに設置している自動販売機の売り上げの一部を設置会社のコカ・コーラ社と協定を締結し、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」を目的に寄付金として2020年度の開館より積み立てており、本年度、金額がある程度になったため、理事会にお諮りし以前より竜串湾の調査、保全活動に取り組まれ、本協議会協力機関でもある公益財団法人黒潮生物研究所へ76,371円の寄付を行った。

(一社) 土佐清水ジオパーク推進協議会

4-2 マルバテイショウソウ保全活動

希少植物であるマルバテイショウソウについて、地域、牧野植物園、市と協力し、自生地の保全活動に取り組んだ。本年度は、高知県補助事業を活用し、備品の購入（チェーンソー、草刈機）、また、生育を阻害している自生地の樹木の伐採を、業者に委託し行った。

4-3 足摺ヤブツバキ再生プロジェクト

2016 年度より、地元、市、観光協会、有識者が協力し足摺岬先端地域のヤブツバキ再生、地域の小学校での食育イベントなどを実施してきた。本年度もモニタリング、圃場地の草刈りなどの管理作業、小学校での環境学習などを実施した。

・椿モニタリング

(5/23 足摺岬)



(1/9 足摺岬)



4-4 美観保全活動

ジオサイトの美観活動、保全活動をはじめ、竜串地域の「3 事業者会」（足摺海洋館、スノーピーク、竜串ビジターセンター、道の駅めじかの里）で連携し、定期的に清掃、草刈りなどを実施した。

・竜串海岸清掃活動

(7/20 竜串海岸)



・吉福邸維持管理（清掃、草刈り）

(9/12 松尾地区吉福邸)



5. 運営（会議の開催）

2023 年 3 月の社員総会において令和 5 年度事業計画・収支予算が承認され、前期アクションプランに沿った活動をしつつ、日本ジオパーク認定時の指摘事項への対応を行った。

また、土佐清水市長、土佐清水市議会議長の交代により、11 月の臨時社員総会において、新理事の選任を行い、新たに程岡理事長、作田副理事長が就任した。

推進協議会会議

日にち	会議	内容	参加者
3/15	令和 4 年度 第 1 回理事会	令和 5 年度事業計画・予算について	5
3/30	社員総会	令和 5 年度事業計画・予算について	25
9/1	令和 5 年度 第 1 回理事会	代表理事、副理事長の選定について	5
10/30	令和 5 年度 第 2 回理事会	臨時社員総会の招集について	4
11/23	令和 5 年度 第 3 回理事会	臨時社員総会の議事について	5
11/23	臨時社員総会	理事の解任、選任について	25
11/23	令和 5 年度 第 4 回理事会	代表理事、副理事長の選定について	7

6. 竜串ビジターセンターの管理運営業務

市から委託を受け管理運営を行っている竜串ビジターセンターについて、施設の維持管理、観光、国立公園内の情報発信などを実施した。年間、326 日開館し、年間入館者数は、69,844 人となり、本年度は、観光客への情報提供を促進するため年末年始（12/29～1/3）も開館し、のべ 2,324 人が来館した。また、本年度は、収益化を目指し、オリジナルグッズの試験販売を行った。

○実績

- ・年間開館日数：326 日（火曜日休館 7～9 月は無休）
- ・年間入館者数：69,844 人
- ・自然ふれあい行事実施数：7 回（参加者：77 人）

自然ふれあい行事実績

日にち	イベント名	内容	参加者
5/20	土佐清水の植物観察会	桜浜での植物観察を実施	8
7/17	海からのおくりものでオブジェを作ろう！	桜浜でのビーチコーミング後、それを材料にオブジェを作成	13
10/21	ジオの奇妙な冒険	見残し海岸での地質的なフィールドワーク	14
12/16	自然の素材を使ってクリスマスオーナメントを作ろう 2023	国立公園内の自然を感じてもらいながら、オーナメント作りをしてもらう	12
1/1～3	SDGs 風揚げ 2024My SDGs 宣言を書こう	昔ながらの再生可能エネルギーを使った風揚げを通じ、SDGs に興味を持ってもらう	15 9

(一社) 土佐清水ジオパーク推進協議会

1/13～ 2/12	アクティブレンジャー写真展	中四国の国立公園地域の自然を題材とした写真展	-
3/30	ワークショップ貝殻の「かたち」大研究！	貝殻を通し土佐清水の自然の豊かさを感じてもらいた、近隣施設である海のギャラリーとも共同して実施	6

・自然ふれあい行事

第 19 回ジオの奇妙な冒険

(10/21 見残し海岸)



クリスマスオーナメントを作ろう

(12/16 竜串ビジターセンター)

